

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38566	
事業名	介護サービス事業所等感染症対策費						
評価担当課	所属名	保)高齢保健福 介護保険課					
	課長名	池田 清美	担当者名	山本 健太	電話番号	211-2972	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、介護サービス事業所等の業務継続を支援するため。				
		長期	新型コロナウイルス終息の見通しが立たない中で、介護サービス事業所等に感染拡大防止策を講じつつの業務継続を求め、介護サービス等を必要とする高齢者への支援を継続し、必要な経費の補助を実施するため。				
	取組内容	①介護サービス事業所・介護施設等が感染拡大防止策を行い、必要な介護サービスを継続して提供できるよう、通常の介護サービスの提供時には想定されない、かかりまし経費等に対して支援を行う。 ②介護施設等において、感染が疑われる者が発生した場合に、感染拡大のリスクを低減するため、ウイルスが外に漏れないよう、陰圧装置の設置や工事等に必要な経費について補助する。 ③介護施設等において、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため自主的に行う検査費用(PCR検査、抗原検査)を補助する。(要綱:札幌市高齢者施設新型コロナウイルス感染症検査補助補助要綱)					
実施結果	①感染者の発生した介護サービス事業所、施設等(348事業所)に対し、感染拡大防止のために、通常想定されないかかり増し経費の補助を実施した。 ②意向調査を実施し、希望のあった施設(12台分)に対し、設置費用の補助を行った。 ③独自に検査を実施した128施設に対し、検査費用の補助を実施した。						
事業実施における工夫点	特になし。						
対象者	介護サービス事業者・施設等			開始	令和2年度	終了	令和3年度
関連法令・条例・要綱等	①介護保険事業費補助金交付要綱、新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業実施要綱 ②介護サービス提供基盤等整備事業費交付金交付要綱						
他都市の状況	厚生労働省及び北海道が実施する事業であり、他政令市等において同種の事業を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	643,639	431,000	521,086	764,000
うち特定財源	603,927	431,000	521,086	764,000
人工	0.0	0.0	0.0	2.2
人件費	0	0	0	15,840
計(事業費+人件費)	643,639	431,000	521,086	779,840
事業費の内訳	令和3年度決算	決算額 521,086千円 <内訳> かかり増し経費の補助費用 479,146千円 簡易陰圧装置等の補助費用 29,922千円 検査補助 12,018千円		
	令和4年度予算	予算額 764,000千円 <内訳> かかり増し経費の補助費用 228,000千円 簡易陰圧装置等の補助費用 522,000千円 検査補助 14,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	検査補助の申請件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	53	100	128	120	
活動指標2	指標名	サービス提供体制支援(かかり増し経費)の申請件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	78	100	348	500	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	検査補助及びかかり増し経費の補助については、要綱に基づき、申請のあった事業者等(検査補助:施設、かかり増し経費:事業所)に対して適切に補助を実施できた。また、陰圧装置については、意向調査にて希望を確認した12施設12台分について、令和3年度内に設置を完了している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	申請数と感染状況等を鑑みるに、実施規模は適切であったと考える。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	B	サービス提供体制支援(かかり増し経費)について、申請件数の大幅な増加に伴い、補助金の交付にあたっての、申請の受理、審査、支払いにおけるまでの間において、一部時間を要した点があったため、事務処理の効率化を図りたい。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	当該補助により、入居者及び利用者、職員等の新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を支援することができたと考える。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	各要綱に基づき、適切に補助事業を実施・交付することができたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 新型コロナウイルスが終息していない状況下において、感染拡大防止対策の継続が必要であることから、引き続き補助を実施する。事務処理の手法等については、申請件数の更なる増加も見込んで、効率化に向けた改善に取り組むたい。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他			見直し効果額
		申請件数増加に伴い、積算の見直しを実施する。			